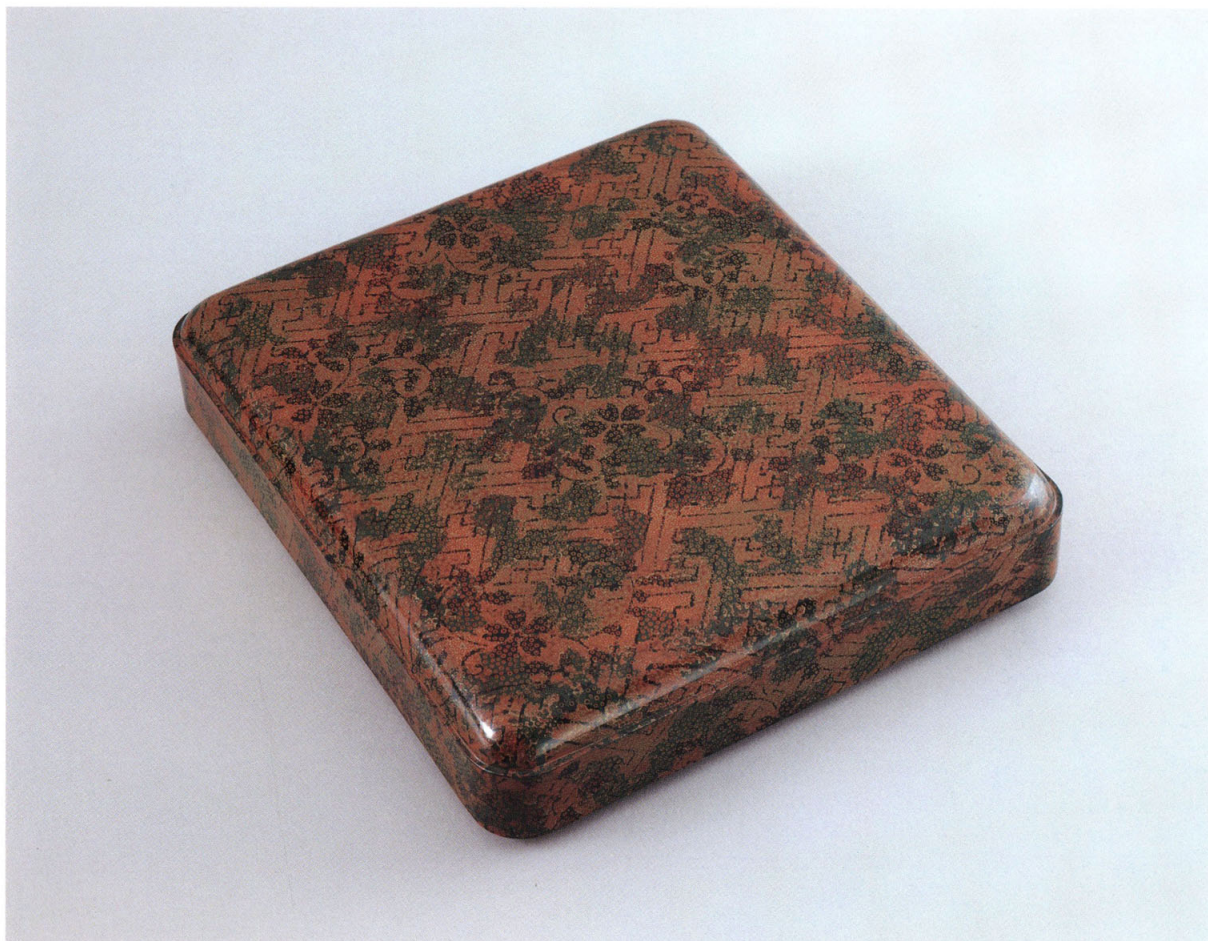


ここでは、各地の特色ある技法による作品の数々を紹介  
します。津軽の変わり塗、会津や金沢の蒔絵、輪島の沈金、  
鎌倉彫、香川の蒟醬と存清、沖縄の堆錦など多彩な技法が  
挙げられます。江戸時代に産地としての基盤が築かれた地  
域の他、近代に入ってから工芸産業のひとつとなった久留

米藍胎漆器、高知の土佐古代塗、宮崎漆器の作品も含まれ  
ています。これらの産地から職人として出発した作家たち  
が、展覧会などで積極的に作品を発表したこともあって、  
各地域に伝承された優れた技が全国に知られることとなり  
ました。



26—青森  
錦塗硯箱  
大正～昭和初期

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に<sup>1</sup>出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

工芸風土記 式―木・竹・漆工の世界

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 31

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社 東京美術

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成十五年七月五日発行

© 2003, Museum of the Imperial Collections